

すいさん 山形

No. 346

令和元年 / 5月号

山形県漁業協同組合
広報誌

漁民と手をつなく広報誌

時代は令和へ
巡る千年余の歴史



三瀬地区氣比神社例祭



4月14日、山形県庄内地方に春の訪れを告げる最も早い時期の祭りである「三瀬地区氣比神社例祭」が行われました。氣比神社本殿は平安時代末期に敦賀の氣比神社の分霊を祀ったものと言われており、宝永4年（1707）酒井家の寄進により建てられました。明治、大正の広い戦役において氏子の中に一人も戦死者がなかったことから、第二次世界大戦の折には武運を祈る参拜者で賑わったそうです。約300^キの御神輿を若者が走って担ぐ「跳ね神輿」は新時代の幕開けを祝うように力強く颯爽と祭りを盛り上げました。

平成30年度地区座談会開催

(前号の続き)

前号に引き続き、2月23日から各支所を会場として開催された地区座談会での主なご意見・ご要望について掲載します。

豊浦支所

3月9日(火) 午前9時30分
出席者26名(内女性部3名)

Q 今年度も収支は厳しいということとで、収支を良くするには水揚向上が必須であるが魚価は下がっている。これを打開しなければ根本的な解決にならないのではないか。

A 10年前と比較すると漁獲量は、8,000トンから6,000トンに減っている。魚価は、全体ではここ3年は若干ながら上がっている。今後も関係機関と連携し、魚価向上に努めて行きたい。

Q 機器導入事業の説明があつたが、今朝の新聞に補助事業により操業の効率等が上がり魚の資源が減つたのではないかという学者の説が



載っていた。自分は鮮度を良くし、水揚げ増加に繋がりたいと思っている。

A 新年度予算は3,200億円で昨年の1,700億円より大幅に増加している。10年前も3,000億円の予算が付いた年があつたが、予算の使い道が限られていた。新年度予算は使い勝手の良いものになっている。

Q タイ、タラ等値段が暴落したが、それにより自ら漁獲物を売ることを考える漁業者もいる。暴落しない為の方策も考えておくことも必要ではないか。販売体制の強化は必然。

A 漁協は漁業者の所得の向上を図る使命がある。以前の赤字は会計上の理由であつたが、昨年・今年通常の経営で赤字になる見込みである。現状の事業はもちろんであるが、利益を上げる事業を探して行きたい。

Q 組織として職員を育てるシステムが必要ではないか。新規事業は期間を決めて実施するように。時代は常に進んでいる。魚は売れるものは高くても売れる時代、量を捌かず仲買人はいらぬ。魚の価値を出す仲買人であり、仲買人を仕切る漁協であるべきだ。市場統合については、新たな販売体制を検討すべき。いろいろな問題が絡み合つて難しいが、漁民と話し合い問題解決を模索したらどうか。

A 他地区からも質問があつた。補正予算のため4月に申請し、6

由良総括支所

3月9日(火) 午後1時
出席者28名(内女性部3名)

Q 機器導入事業の工事の時期を底曳の休漁期間中に出来るようにならないか。

A 他地区からも質問があつた。補正予算のため4月に申請し、6



由良総括支所

月中旬に決定となる。それからの発注となり、年度中に事業完了しなければならぬので、どうしても休漁期間には工事が間に合わない。引き続き要望していく。

Q タラの値段が今年のように暴落した年はない。原因はなにか。今後はどうなるか。

A 例年の半値程度となっている。これは、三陸・青森方面が大漁だったことによるもので、加工場も早くから原料を確保し、値段が上がらなかった。今後のことは見通せないが、適正な価格になるようにしていきたい。

Q 冬期間は毎日出漁できるものではない。魚を当日全量売るのは

A 前向きに検討する。

Q 年間収支・中期計画の説明を聞いたが経営の目途がいたら、旧市場の解体をお願いしたい。

A 3/14に港湾事業説明会があるので要望していきたい。

Q 港内に砂が溜まり危険である。航路はギリギリの深度でありそれ以外のところは航行できない。浚渫をお願いしたい。

A 3/14に港湾事業説明会があるので要望していきたい。

3月9日(火) 午後3時30分
出席者15名(内女性部0名)

加茂出張所

なく、出漁しない日に売ることができないか。鮮度を保つ水があるか。

A 不明点が多くある。特に、内臓の鮮度維持ができるかが不明であり、調査したい。

Q 臨港道路南側岸壁付近にトイレがなく、釣人が野原に用をたしていく。トイレを造ってもらえないか。

Q その場所が野原で砂利場となっている。舗装できないか。漁港協力会でも要望しているが実現しない。

A 3/14に港湾事業説明会があるので要望していきたい。



加茂出張所

Q セーフティネットに加入する場合、年齢制限はあるのか。

A 年齢制限はない。

・漁協より、昨年アカモクを全体で3t獲ってもらい商品化したのが、変色したものが混じり商品化できないものがあつた。出荷の際に注意願う旨をお願いした。

これに対し、出席者よりアカモクもそうだが他の魚も選別・鮮度等悪いものは指導するべきという意見が多数あつた。

3月20日(水) 午前11時
出席者16名(内女性部0名)

飛島支所

JFマリンバンクより 目よりなご提案

そろそろ軽トラックを換えたい JFマイカーローン 1.95%~

どうしよう!!車の修理や車検・整備のお金が無い! JFマイカーローン もOK!

エンジンや船体が急に壊れてしまった!! 足りない資金をなんとかしたい!! 近代化資金 0.2% 一般資金 3.0%~

急な出費でなんとかやりくりしたい! JFフリーローン 8.0%~

ご相談は 信用共済課・由良支所・念珠関支所ローン融資担当者まで

*審査の結果によっては、ご利用およびお借り入れのご希望に添い加ねる場合がございますのであらかじめご了承下さい。

人事異動のお知らせ

山形県漁業協同組合

◆異動(平成31年4月1日付)()は旧所属

西村 盛 参事(兼)総務部長
(参事)

安藤 大栄 管理課長
(販売企画課長)

佐藤 大輔 販売企画課長
(由良総括支所次長)

田中 寿幸 由良総括支所次長
(さかた総合市場係長)

池田利恵子 購買課係長
(さかた総合市場係長)

倉田 公平 由良総括支所係長
(水産加工工場係長(庄内海丸店長))

讃岐 桂 水産加工工場係長(庄内海丸店長)
(由良総括支所)

鈴木伸之介 製氷工場
(由良総括支所)

二階堂 琢 販売企画課
(念珠関総括支所)

富岡 優馬 購買課(兼)全漁連出向
(さかた総合市場)

佐藤 真生 豊浦支所
(販売企画課)

鈴木 みほ さかた総合市場
(吹浦支所)

五十嵐加奈 念珠関総括支所
(豊浦支所)

◆退職(平成31年3月31日付)

松本 一夫 (総務部長(兼)管理課長)
(定年退職)

赤塚 一子 (購買課係長)(定年退職)

佐藤 理恵 (由良総括支所)(自己都合退職)

◆新規採用(平成31年4月1日付)

齋藤 大将 指導課

菅原 雄輝 さかた総合市場

松井春太郎 念珠関総括支所

小川 美和 指導課

◆定年退職者再雇用 採用・転属
(平成31年4月1日付)

松本 一夫 加茂出張所採用
事業推進専門員(専門職待遇)

高橋 茂喜 吹浦支所へ転属
事業推進専門員(専門職待遇)

赤塚 一子 吹浦支所採用

鳴屋 艶 由良総括支所へ転属

◆嘱託職員採用(平成31年4月1日付)

小笠原 健 指導課 指導専門員(専門職待遇)

佐藤 光良 購買課 第五とせ丸機関長

◆再雇用職員・嘱託職員 退職
(平成31年4月1日付)

中鉢喜代志 (吹浦支所)(再雇用期間満了)

松崎 光雄 (購買課(兼)全漁連出向)
(再)雇用期間満了)

石塚 雅志 (加茂出張所)(雇用期間満了)

佐藤 一弥 (購買課(第五とせ丸機関長))
(雇用期間満了)

佐藤 研 (事業部 事業推進専門員)
(雇用期間満了)

白畑 太 (製氷工場)(雇用期間満了)

全国漁業信用基金協会 山形支所

◆昇格(令和元年5月1日付)

芝田 秀樹 副所長(係長)

山形県水産関係職員 (平成31年4月1日付)()は旧所属

●庄内総合支庁産業経済部
水産振興課

阿部 啓一 漁港整備主幹
(県庁農林水産部農村整備課 課長補佐)

村田 千 課長補佐
(庄内総合支庁産業経済部地域産業経済課 課長補佐)

板本 健児 課長補佐(振興普及及漁業調整担当)
(内水面水産試験場)

石川 甲 課長補佐(漁港整備担当)
(会計局工事検査課検査専門員)

杉山 清 行政主査
(庄内総合支庁総務企画部税務課 課長主査)

鈴木まどか 水産振興主査
(鳥海学園総務主査)

石垣万寿博 計画主査
(庄内総合支庁建設部河川砂防課砂防整備主査)

佐藤 由夏 漁業調整主査
(庄内総合支庁産業経済部地域産業経済課
観光振興室観光振興主査)

田中 亨 主査(漁港整備担当)
(庄内総合支庁産業経済部水産振興課技師)

早坂 瞬 水産普及指導員(振興普及担当)
(内水面水産試験場)

後藤 大志 技師(漁港整備担当)
(庄内総合支庁建設部河川砂防課技師)

●県庁 農林水産部 水産振興課

笠原 裕 水産振興課長
(水産試験場)

佐藤 年彦 課長補佐(水産企画振興担当)
(庄内総合支庁産業経済部水産振興課課長補佐)

鹿間麻里江 水産加工・流通主査
(県庁健康福祉部健康福祉企画課課付業務主査)

粕谷 和寿 主査(水産企画振興担当)
(内水面水産試験場)

齋藤 進 主査(水産加工流通担当)
(村山総合支庁北村山総務課課付主査)

櫻井 克聡 技師(水産企画振興担当)
(水産試験場)

大川 孝平 技師(漁港漁場担当)
(最上総合支庁河川砂防課技師)

●水産試験場

忠鉢 孝明 水産試験場長
(内水面水産試験場)

佐藤 瑞穂 総務主査(兼)庶務係長
(庄内総合支庁総務課出納室審査出納主査)

阿部 幸 専門研究員
(海区漁業調整委員会事務局主任主査)

工藤 創 専門研究員(浅海増殖部)
(県庁水産振興課)

●内水面水産試験場

加賀山 祐 内水面水産試験場長
(兼)生産開発部長
(県庁水産振興課課長補佐)

野口 大悟 専門研究員
(県庁水産振興課)

齋藤 哲 研究員
(水産試験場)

※他公所への転出者につきましては、掲載を省略させて頂きましたのでご了承願います。

理事会情報

平成30年度 第8回 理事会議案
開催日…平成31年3月26日(火)
場所…本所 第一会議室

【協議事項】

- 1 第54事業年度通常総代会の開催と議長選出について
- 2 平成30年度決算方針(案)について
- 3 平成31年度における貸付金利率の最高限度額及び同一人に対する信用供与等の最高限度額について
- 4 余裕金の預け入れ先の決定について
- 5 新たな事業変革実践計画(「県域アクションプラン」)の策定について
- 6 反社会的勢力等への対応に関する基本方針及び反社会的勢力等への対応に関する規則の改定について
- 7 マネー・ロンダリング等への対応に関する規則について
- 8 当組合における取引のリスク評価書について
- 9 平成31年度コンプライアンス・プログラム(案)について
- 10 平成31年度内部監査計画(案)及び職員研修計画(案)について
- 11 平成31年度販売掛金与信極度額の承認について
- 12 平成31年度における理事の購買売掛限度額設定(案)について
- 13 平成31年度潜水漁業(すもぐり)の制限について
- 14 商品配達用車輛(2t冷凍機付トラック)のレンタルリース契約について
- 15 山形県議会議員選挙候補者の推薦について

【報告事項】

- 1 平成31年2月末現在の状況について
- 2 平成30年度地区座談会開催状況について
- 3 組合員の加入・脱退について
- 4 人事異動の内示について
- 5 その他

令和元年度 第1回 理事会議案
開催日…平成31年4月23日(火)
場所…本所 第一会議室

【協議事項】

- 1 平成30年度資産自己査定による償却・引当金の決算計上について
- 2 平成30年度事業収支状況について
- 3 第6次中期経営計画(修正)について
- 4 理事者の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 5 組合員資格審査委員会の答申について
- 6 山形県漁業共済事業運営委員の選任について

【報告事項】

- 1 債権管理委員会の報告について
- 2 平成31年3月末における資金運用状況について
- 3 平成30年度さけ海中飼育実績報告について
- 4 平成30年度漁業権行使料徴収実績について
- 5 コンプライアンス推進委員会の開催について
- 6 水揚優秀船の表彰について
- 7 平成30年度「庄内海丸」の収支について
- 8 組合員の加入・脱退について
- 9 その他

総会・総代会の日程

●山形県漁業協同組合

《通常総代会》六月二十五日(火)

午前十時 本所・講堂

尚、午前九時より水揚表彰式を行います。

●日本漁船保険組合

《通常総代会》六月十七日(月)

午後二時三十分

(東京都) ホテルグランドパレス

●全国漁業信用基金協会

《通常総会》六月二十八日(金)

午後二時

(東京都) 東海大学校友会館

●全国合同漁業共済組合

《通常総代会》六月二十日(木)

午後二時

(東京都) KKRホテル東京

●全国共済水産業協同組合連合会

(共水連)

《通常総代会》七月二十五日(木)

午後一時三十分

(東京都) コーピビル

新 人 紹 介



指導課
指導事業専門員
おがさわら けん
小笠原 健

前職は、鶴岡市役所に務めておりましたので、組合員の中にはご存知の方もいるかもしれませんが、

頭も体も指先も力タクなくなった還暦過ぎの私を、採用していただいたことに感謝しております。

新たな仕事に不安いっぱいですが、皆さんにご迷惑をおかけしないよう頑張りますので、よろしくお願いたします



指導課
さいとう だいすけ
斎藤 大将

この度、4月1日より指導課に配属されました斎藤大将と申します。

私の出身は酒田で、祖父が飛鳥出身だったこともあり、幼い頃から海は身近なものでした。まだまだ未熟で皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、常にチャレンジ精神をもって、魅力あふれる庄内の地域に少しでも貢献できるよう、日々成長していければと考えておりますので、宜しくお願いします。



指導課
おがわ みわ
小川 美和

4月1日より正職員として勤務させて頂けることになりました。改めてよろしくお願致します。小川美和です。

もともと海や魚は大好きでしたので漁協の仕事は魅力的で毎日が新鮮です(魚だけに)。臨時職員としてお世話になってから早一年と8か月、各方面の皆様にご迷惑をおかけしながら頑張らせて頂いております。どうか今後とも変わらぬご指導よろしくお願致します。



念珠関総括支所
まつい しゅんたろう
松井 春太郎

4月1日付で念珠関総括支所へ配属となりました。松井春太郎です。加茂水産高校卒業後、組合学校へ進学し、漁協について様々なことを学びました。

市場での仕事や事務仕事はまだまだ分からないことが多く、先輩方にご迷惑をおかけしていますが、早く仕事を覚え、自分の仕事に責任を持つて励みたいと思います。



(公財)水産振興協会
せと りゅうたろう
瀬戸 龍太郎

今年から(公財)水産振興協会の一員となりました瀬戸と申します。東京都生まれで山形の方言も未だよく理解ができていない状態ですが、職員の皆様が温かく迎えてくれたおかげで少しずつ馴染めていく実感があります。これから仕事で関わっていくクロソイ、トラフグ達と共に自身をも育てる二年間にしていきます。どうぞよろしくお願致します。



さかた総合市場
すがわら ゆうき
菅原 雄輝

4月1日より、さかた総合市場に配属となりました菅原雄輝です。

さかた総合市場では、直に魚に触れたり水産関係の方々との交流も多く、魚や漁業の知識を毎日学ばせて頂いております。これからも皆様から多くのことを学び、成長していきたいです。この目と舌で確かめたいからこそ分かる、魅力ある庄内の水産物を全国に発信できるように励んでいきます。

がんばってます



山形県水産試験場
浅海増殖部
くどう はじめ
工藤 創

この度、水産試験場に異動になりました、工藤創(はじめ)です。どうぞよろしくお願致します。水産試験場勤務は初めてですが、県の水産職に採用される以前は、加茂水産高校で常勤講師を3年間していました。大好きな魚の知識、学生時代に研究していた海藻の知識、特技の潜水技術を活かし、漁業者の皆様と地域に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願致します。



庄内総合支庁
産業経済部 水産振興課
はやさか しゅん
早坂 瞬

4月から庄内総合支庁産業経済部水産振興課に水産業普及指導員として着任しました早坂瞬です。初めての異動、初めての海での仕事ということで分からないことが多いですが、皆さんのお役に立てるよう精進してまいります。そのためにも20年ぶりに釣りをしようかと考えながら通勤する日々です。

マダイの鮮度保持技術について

「活締め」や「神経締め」は、今や魚の価値を高める上で必要不可欠な技術となっています。最近流行の「熟成魚」も、このような鮮度保持技術と密接に係わっており、この技術が進化してきたからこそ可能になったものです。その辺の仕組みをお話すると長くなるのでまたの機会にいたしますが、漁業者の皆さんはマダイの神経締めにどのような手順で行っているのでしょうか？

先日、神経締めのマダイを市場に出荷している漁業者（主にはえ縄漁業者）を対象に勉強会を開催しました（4/4：由良、4/8：小岩川）。その中で、神経締めの工程【延髄切り、脱血、神経破壊】をどのような手順で行っているかアンケート調査を実施しました。結果は、まさに十人十色、人それぞれでした。しかし、果たして本当にその方法で良いかどうか、疑問に思っている方もいらっしゃいました。昨年私が実施した試験では、神経締めの手順によっては、全く鮮度保持の効果がなくなってしまうものもありました。一言で「神経締め」と言っても、漁業者によってやり方がバラバラで品質にばらつきがある状況では、なかなか値段が付きにくいのが現状です。

そこで水産試験場では、最適なマダイの神経締めの手順について、現在研究を進めています。研究結果がまとまれば、現状では十人十色の神経締めの手順をある程度統一し、品質の向上に繋がれると思います。

写真は、庄内浜産天然マダイ（上）と愛媛県産養殖マダイ（下）です。近年は、脂が乗って綺麗な色に仕立てられた養殖のマダイに比べると、天然マダイの値段が負けてしまうこともあります。（私は断然天然のマダイの方が好みですが…。）天然マダイの強みは、養殖には出せない身のしまりと熟成の旨味にあると思います。その強みを活かすためには、活け越しや神経締めの技術は必須です。マダイだけではなく、他の魚種でもどんどん技術開発をして、付加価値向上に繋がっていきたく思いますので、ご要望のある方は水産試験場までご連絡ください。

山形県水産試験場 専門研究員 高木 牧子



由良での勉強会

「海の羽根」募金にご協力をお願いします！

山形県海と渚環境美化推進協会では、海の環境美化を目的とした海の羽根募金活動を行います。

実施期間 7月1日から7月31日までの1か月間

募金場所 市役所、町役場、庄内総合支庁、県漁協など

未来につなげよう

青い海と
美しい渚

お問い合わせ先
庄内総合支庁 水産振興課内
山形県海と渚環境美化推進協会
事務局 担当：池田
TEL 0234-24-6041

豊かな山形県の海を守るため、
皆様からのご協力を
よろしくお願いします。

サクラマス 好調!!

今年は、サクラマスの漁が好調で、市場での明るい話題になっていますし、実際3月下旬から4月上旬の漁獲量をみると、昨年の2.5倍程の漁獲量で、2016年以来の好漁年となりそうな勢いです。

サクラマスは春に生まれた河川に帰ってきて秋まで過ごし、河川の上流で産卵をして一生を終えます。卵は冬の間に孵化し、稚魚は約1年間河川で過ごして2年目の春に海へと降り、北の海まで回遊しながら魚やエビ等の餌を食べながら大きく育ち翌春に再び帰ってくるので、サクラマスの一生は3年周期で回っていて、2016年にサクラマスが多かったことが、今年的好調に繋がっている要因の一つです。

サクラマスは河川と海で生活する魚ですから、今年的好漁を機会にサクラマスが増える河川や海的环境の保全を考えたいものです。

ちなみに、河川に遡上するとサクラマスは秋の産卵まで餌を食べません。そのため河川に遡上する前にたっぷり餌を食べて脂が乗っているため、今が最も美味しい旬の時期なのです。



(公財)山形県水産振興協会 業務部長(兼)栽培漁業課長 余語 滋

“6次産業”に取組んでみませんか

【6次産業とは】

漁業者が主体となって、魚を獲るだけ(1次産業)でなく、加工(2次産業)や販売(3次産業)まで総合的かつ一体的な推進を図り、新たな付加価値を生み出す取組を言います。尚、6次産業化は販路を重視した「1次×2次×3次」の視点を持ち、商工分野との連携(農商工連携)や観光分野との連携(農観連携)、さらには販路の一つとしての輸出など、食産業全体の付加価値を高めるあらゆる取組を幅広く含むものとしています。

山形県元気な6次産業化ステップアップ支援事業

- 6次産業化施設整備支援事業
補助率 1/3以内 上限 3,000万円
- 小規模6次産業化施設整備支援事業
補助率 1/3以内 上限 300万円
- 商品・販売力向上支援事業
補助率 1/2以内 上限 50万円
- スモールビジネス創出支援事業
補助率 上限 30万円

庄内浜は134kmの海岸線で130種類の水産物が水揚げされます。その中で「旬」の魚と云われ高値で取引される水産物には限りがあり、規格外や旬の外れた水産物は仲買人の努力も報われず、漁業者が望む価格形成にはなっていないのが現状と思います。売れる魚しか出せない現在の市場状況「もったいない・何とかしたい」は漁業者皆が思っていること、資源の有効活用を考えた漁師叩き上げの加工品を作ってみませんか?

地元では「生」が一番、「冷凍・加工」は余った魚をするものという先入観も未だに根強く残っています。しかし地元でも捌ける人は一部の高齢の人に限られます。料理教室やイベント等、その都度「庄内浜鮮魚」のPRは頑張っていますが、思う様に浸透していないのが現状です。忙しいといえればそれまでですが、家で調理しなくても魚を食べられる時代になってきました。

“庄内浜で獲れる魚は絶対に旨いのです”。しかし、時化等が多く行き届かないのも現実です。生が駄目なら「加工食品」に姿を変えた「庄内浜産」を考えてみませんか?



どうしたらいい?

まずはご連絡ください

山形県庄内総合支庁
産業経済部水産振興課
☎0234-24-6045 佐藤 剛

水 揚 情 報

平成31年 4月30日現在

(単位：千円)

支所別 区 分		水揚合計	水 揚 地 内 訳							
			吹 浦	飛 島	酒 田	加 茂	由 良	豊 浦	温 海	念珠関
月末迄水揚累計		0	0	0	0	0	0	0	0	0
月 間 水 揚	県内船水揚	129,418	7,930	1,810	35,994	10,196	21,060	11,943	3,494	36,991
	県外船水揚	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	129,418	7,930	1,810	35,994	10,196	21,060	11,943	3,494	36,991
前年同月水揚		109,275	5,359	2,930	22,170	16,190	19,368	10,265	3,763	29,230
本 年 度 水 揚	県内船水揚	129,418	7,930	1,810	35,994	10,196	21,060	11,943	3,494	36,991
	県外船水揚	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	129,418	7,930	1,810	35,994	10,196	21,060	11,943	3,494	36,991
前年度水揚累計		109,275	5,359	2,930	22,170	16,190	19,368	10,265	3,763	29,230
増 減		20,143	2,571	-1,120	13,824	-5,994	1,692	1,678	-269	7,761

平成30年度 水 揚 高

平成31年3月31日現在

(単位：千円)

支所別 区 分		水揚合計	水 揚 地 内 訳							
			吹 浦	飛 島	酒 田	加 茂	由 良	豊 浦	温 海	念珠関
本 年 度 水 揚	県内船水揚	1,921,920	86,414	69,033	669,287	142,498	274,350	166,675	35,941	477,722
	県外船水揚	782,324	0	0	742,740	0	1,807	0	0	37,777
	合 計	2,704,244	86,414	69,033	1,412,027	142,498	276,157	166,675	35,941	515,499
前年度水揚累計		3,134,840	105,358	100,412	1,655,259	150,073	334,479	200,694	38,497	550,068
増 減		-430,596	-18,944	-31,379	-243,232	-7,575	-58,322	-34,019	-2,556	-34,569
本年度水揚計画		2,940,000	110,000	100,000	1,393,000	146,000	337,000	203,000	63,000	588,000
達 成 率		91.9%	78.5%	69.0%	101.3%	97.6%	81.9%	82.1%	57.0%	87.6%



●五月、いよいよ年号が「平成」から「令和」に変わり新しい時代の幕が開きました。

●まだまだ実感が湧かない中ではありますが、「令和」という時代が水産業界にとってより良い時代になることを願うとともに、平成生まれの自分としても一つの区切りとして、初心を忘れず日々の業務を精進していこうと思います。

●今回サクラマスの記事が載っていますが、由良支所でも定置網によるサクラマスが連日水揚げされています。春を告げるサクラマスが昨年より多く水揚げされ、港も活気づきました。これからも旬の魚が多く水揚げされることを願います。

●五月五日には、鼠ヶ関大漁旗フェスティバルが盛大に開催されました。大勢のお客様が地元の鮮魚を求めて来場し、例年以上の賑わいで大盛況でした。このような活動は、地元鮮魚のPRに大きく貢献していると思います。フェスティバルの運営関係者の皆様大変お疲れ様でした。

●「すいさん山形」では、皆様に愛される広報誌作りを目指し、「令和」になっても編集委員一同努力してまいります。今後ともご意見、情報等の提供をお願い致します。

山形県漁業協同組合 由良総括支所

石川 拓也

平成30年度

山形県漁業士認定証授与式

平成31年3月20日に庄内総合支庁にて山形県漁業士認定証授与式が行われました。漁業士とは、昭和62年から地域の中核漁業者として県が認定しているものです。45歳以上で、優れた漁業経営を行い、漁村青年の育成に指導的な役割を果たしている漁業者を「指導漁業士」、45歳未満で、意欲的に漁業に取り組み、人格・見識・経営内容に優れた漁業者を「青年漁業士」としています。今回認定された漁業士は以下の7名です。

◆指導漁業士（移行認定）

佐藤 英壮さん

〔鶴岡市・底びき網漁業〕

土門 拓也さん

〔遊佐町・浅海漁業、張網、さし網〕

◆指導漁業士（新規認定）

五十嵐健生さん

〔鶴岡市・はえなわ漁業〕

本間 和憲さん

〔鶴岡市・はえなわ漁業〕

◆青年漁業士（新規認定）

佐藤 隼人さん

〔鶴岡市・底びき網漁業〕

本間 金弥さん

〔鶴岡市・はえなわ漁業〕

鈴木 重慶さん

〔鶴岡市・はえなわ漁業〕

授与式には、新たに認定された4名の漁業士の方々に加え、山形県漁業士会の齋藤守会長、県漁協の佐藤善隆事業部長も出席し、沼澤好徳庄内総合支庁長より認定証が授与されました。新たに認定させていただいた方々を含め、漁業士のみならず、後継者育成における指導的役割や技術開発・普及へのご協力など、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

庄内総合支庁産業経済部水産振興課 技師 榎宗市郎



上段左から沼澤庄内総合支庁長、沼澤産業経済部長、下段左から佐藤事業部長、佐藤隼人さん、五十嵐健生さん、本間和憲さん、本間金弥さん、齋藤守漁業士会長

第28回 鼠ヶ関大漁旗フェスティバルが5月5日(日)この日に鼠ヶ関漁港にて開催されました。

新鮮な鼠ヶ関の鮮魚が安く買えるとあって、販売を待ちわびる多くのお客様が開場前からずらりと列を作り、開場されるやいなや、次々とお目当ての商品を買い求めていました。大人気の鮮魚販売は、午前中のうちに完売となりました。

朝は肌寒かったこともあり、エビ汁やアンコウ汁にも行列ができていました。お客様は美味しい魚汁に舌鼓を打ち、



鳥海山大物忌神社味浦口ノ宮例大祭に外国人漁業実習生14名が参加しました!

5月5日(日)、遊佐町で開催された例大祭に、インドネシア漁業実習生14名が参加し、祭りを盛り上げました。晴天の下、海の安全と大漁を願う地元の担ぎ手と共に船神輿を担いだ彼らは、溢れる若さで威勢の良い掛け声とともに神輿を揺らし、町中を練り歩きました。勢い余って、船神輿に積んであった酒樽から酒があふれ出してしまおうというアクシデントが起こるほどでした。日本での慣れない生活で苦勞も多い彼らですが、とても働き者で一生懸命日本での学びを吸収しています。これからも温かい目で応援よろしくお願い致します。



第28回 鼠ヶ関大漁旗フェスティバル開催!

体を温めていましたが、日が昇ってくと次第に気温も上昇し、みるみる初夏の陽気となったため、かき氷等の出店も大いに賑わいました。「漁船クルージング」では、親子連れが底曳網漁船に乗ってさわやかな潮風の中クルージングを楽しみ、「魚のつかみ取り」では、子供たちが全身びしょ濡れになりながらいけすに放たれたワラサやアジなどを元気よく追いかけていました。会場には子供たちの笑顔があふれ、まさに「こどもの日」に相応しい一日となりました。

念珠閣総括支所 鈴木 峰明